



江東エコリーダーの会は地元の環境・生物多様性に係わります

江東エコリーダー・ニュース 70号

水彩都市江東 安全・安心まちづくりは 人と人の交流から

発行 江東エコリーダーの会 江東区潮見1-29-7

「みどりのカーテン」コンテスト授賞式+情報交換の「集い」

日時： 2018年9月29日

所： 江東区環境学習情報館「えこっくる江東」

主催： えこっくる江東

運営： 江東エコリーダーの会

温暖化対策として広がってきた緑のカーテンを多くの人に啓蒙する5月の講座に続いて、栽培コンテストの授賞式と情報交換の「集い」を開催した。

初めに石井匡志先生から各賞の授与と講評が行われた。参加者の技術が上がり、年々審査が難しくなっていると同時に、新しく企業参加があり、社会的知名度の広がりを感じ、ますますの活動の拡がりを期待すると話された。

今年には気候変動のためか、余りの猛暑で、従来とは異なることが見られた。A氏の講評では、1週間に3,4回の追肥のためか、葉が大きく、色が濃い。B氏については、黄色のゴーヤーが多いが、例年と違い猛暑のためか、黄色化が早い。高温で成長が早く、夜も休めず、栄養が全身に廻り難かったため実も小型化したのかと。また、高温で虫が少なく、受粉が少なかったのかもしれないとも。例年参加の大西さんは、今年は暑くてエアコンをかなり使ったので、電気使用量は例年以上だったと。曲がったゴーヤーの理由は、受粉時の環境にあるとのこと。受賞作品をはじめ、佳作作品はこの後、えこっくる江東展示室でオープン中。

江東区の「みどりのカーテン」をはじめとする生物多様性保全の取り組みとして、江東区内の行政、区民や企業をはじめ多くの人にますます広がり、末永く展開することを祈念したい。



えこっくる江東研修室



えこっくる江東のみどりのカーテン



石井先生から各賞の授与



講評と解説



館長特別賞の八名川小学校4年生



八名川小学校4年生と緑のカーテン



緑のカーテンコンテスト応募